

航空機整備施設に係る指定管理者制度運用委員会 令和3年度 指定管理者モニタリング検証結果について

- 1 日 時 令和4年7月8日（金）14:40～15:20
- 2 方 法 Web会議（沖縄県庁14階商工労働部会議室）
- 3 出席者
委員長 沖縄国際大学経済学部 教授 島袋 伊津子
委 長 大城税理士事務所 所長 大城 逸子
委 員 (株)沖縄産業振興センター 部長 玉那覇 正美
委 員 MRO Japan株式会社 総務部総務課長 宮之原 裕治
- 4 検証事項 航空機整備施設における指定管理者のモニタリング検証結果について
- 5 検証内容
(1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適正になされているか。
(2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
(3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。
- 6 検証方法
(1) 事務局（企業立地推進課）のモニタリング報告
(2) 質疑・意見
○質問・意見者：指定管理者制度運用委員会委員4名
○回答者：事務局、指定管理者
- 7 航空機整備施設の質疑・応答概要

<委員> 質疑1

- ・全体的に満足度が向上しており、良いと思う。
- ・外構に関する不満度（外灯、案内表示）が昨年度と同様にあるが、どのような内容で、改善策はあるのか。

<事務局> 回答1

- ・案内表示については、エレベーター前及び階段付近に避難経路表示を設置したところである。外灯に関しては、個人的な意見という印象もあるので、今後も同様な意見がでるようであれば、対応を検討したい。

<委員> 質疑2

- ・2018年度～2021年度までの3年間で、未完了の修繕箇所があるが、どのような対策を取っているのか。

<事務局> 回答2

- ・2018年度～2020年度に未完了とされている箇所は、現在も随時確認しており、経過観察箇所としている。

なお、昨年度（2021年度）未完了となっている箇所でも、すでに今年度で対応した箇所もある。基本的には今年度中に対応することとしている。

< 委 員 > 質疑 3

・アンケート配布件数が 30 件であるが、配布方法等はどのように実施しているのか。

< 事務局 > 回答 3

・入居企業の各部署の管理職に配布しており、組織人数によって配布部数を振り分けている。

・基本的には管理職がメインであるが、一般職員からもアンケートを取っている。

< 委 員 > 意見

・アンケートの取り方については、（管理職だけでなく、より一般職員の意見も取り上げられるよう）もう少し検討いただきたい。

< 委 員 > 質疑 4

・入居者からの意見として、高温多湿に対応できていないとあるがどのような内容なのか。

< 事務局 > 回答 4

・大型の格納庫（大扉の開閉、天井高等）であることから、備え付けの空調設備（エアコン等）はなく、風通しが悪く、湿度が高い環境の時には、どうしても湿気がこもり、床面が濡れるといったことがある。

・しかし、入居者のほうで、スポットクーラー等の設置や壁面の窓を開閉式に変更し、通風をよくするなど、改善策を取っている。暑さ対策は取っており、作業に支障はないものと考えている。

< 委 員 > 質疑 5

・アンケートで第 2 滑走路ができてから、騒音がひどく、会話に支障があるとの意見があるが、入居者側の意見も聞きたい。

< 委 員（入居企業） >

・那覇空港は戦闘機の離着陸がある都合上、かなり爆音である。一方で大扉を閉めると暑さや換気の問題があり対応は難しいと考えている。

・コロナ対策で換気のために窓をあけるタイミングと戦闘機の爆音がバッティングすると相当うるさい。職員の感情的なところもあるかとは思いますが、検討するところはあると思う。

< 委 員 > 意見

・戦闘機の離着陸のスケジュール等を確認し、入居者の換気のタイミングとバッティングしないようにすることを検討してもよいかと思う。

< 事務局 > 回答 5

・戦闘機の離着陸音はかなりの爆音であり、遮音等の対応は難しい問題であると考えている。

・解決には根本的なところから対策を取る必要があり、入居者の意見等を確認しながらの検討課題かと考えている。

以上